

「洞爺湖有珠山ジオパーク」を 世界ジオパークに

- 第5回 -



企画防災課 ☎74-3004

7月17日
~19日

世界ジオパーク登録へ

最終審査行われる

世界ジオパーク登録に向けて、最終審査となる現地審査が7月17日~19日の2日間に亘って、イブラヒム・コモオ教授とモハド・シャファイア・レーマン教授により行われました。

初日は洞爺湖町の洞爺湖ビジターセンターを皮切りに、岡田弘・北大名誉教授らが審査委員に洞爺湖有珠山地域の特色を説明しながら、西山火口散策路、有珠山外輪山などを巡りました。同センターで開かれた歓迎セレモニーでは、洞爺湖周辺地域エコノミジアム推進協議会会長の山中漢壮警町長が「洞爺湖有珠山ジオパークを楽しんでいただき厳正な審査をお願いしたい」とあいさつ。道の高原陽二副知事は「道内2カ所が日本ジオパークに選定され光栄です。この地域が、世界ジオパークとしてかけがえないものになることに期待します」とアピールしました。

審査委員のイブラヒム・コモ

オ教授は「皆さんの熱意に心打たれています。前向きにとらえてもらえる様私達も努力したい」と述べました。

一行は、2000年噴火記念公園展望台へ移動し、北海道が

ら砂防施設や噴火遺構についての取組みを説明。審査委員からは説明版について、もう少しジオパークとしての詳しい説明が必要などの意見が出されました。その後、西山散策路南口から



審査委員に噴火の状況を説明する岡田北大名誉教授(左)

散策路を歩き、被害を受けた幼稚園や盛り上がった道路、倒壊した工場を視察しました。

午後からは、木の実沢展望台や南外輪山から北外輪山を回り初日の行程を終了しました。

2日目は、有珠山ロープウェイ山頂展望台からスタート。1977年火山遺構公園や三松記念館などを視察。

道の駅そつべつ情報館Iでは、住民団体によるプレゼンテーションを実施し、小川洞爺湖温泉観光協会ジオパーク委員長が、同協会での取組みをくわしく説明しました。

最終日の19日は豊浦町のカムイチャシ史蹟公園や伊達市の北黄金貝塚公園や善光寺などを視察し、伊達市防災センターで総括・意見交換が行われました。



歓迎セレモニー